

特集

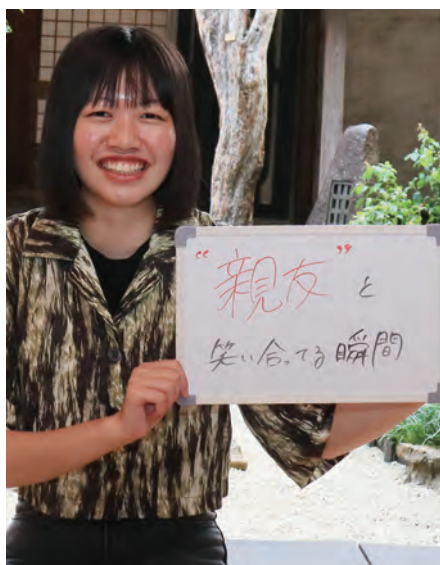
9月21日は、高山市平和の日

終戦から76年。私たちが今、できること

突然ですが、

あなたが**平和**を感じる時はどんな時ですか？

写真は、来年度、イベントを開催予定の学生団体「MAP'04」の皆さんに伺いました(村半にて)



まさかり さらな 鉞 沙来奈 さん (高山西高校)



ながせ りゆうのすけ 長瀬 竜之介 さん (飛騨高山高校)



しだ ゆうら 志多 悠来 さん (飛騨高山高校)

9月21日(火)は「国際平和デー」、そして、「高山市平和の日」です。すべての国と人々が世界の恒久平和の実現に向けた決意を表すとともに、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。

若者等活動事務所「村半」で活動中の高校生に「あなたが平和を感じるとき」を尋ねたところ、「日常」がキーワードとなりました。

一方、世界に目を向けると、現在も紛争や飢餓、貧困が絶えず、多くの尊い命が奪われています。

しかし、日本においては、第二次世界大戦の終戦後、76年間、戦争は起きていません。今、私たちが、「平和な日常」を過ごすことができるのは、先の大戦での先人たちの尊い犠牲があり、戦争の悲惨さが語り継がれてきたからこそです。

世界には多様な文化や生活様式などがあります。互いの風習や生活の違いが分断を生み、それを力で解決しようとする「戦争」が引き起こされてきました。これからは、相手の立場に立って話し合ったり交流したりすることで、理解を深め、信頼を築いていく「平和の文化」を育てることが重要となっています。

今回の特集では、「平和」をテーマにして、戦争経験者ご家族の話や戦争時の高山市の状況、そして、市の平和への取り組みを紹介します。

戦争が持つ悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを知り、終戦から76年を経た今、私たちができることについて、考えてみませんか。

問合せ 生涯学習課 ☎35-3155

